

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック理論Ⅱ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	杉山 菜月	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	<p>・エステティック機器の使用方法と効果、禁忌について学ぶ。またブランド化粧品のコンセプトや化粧品成分についてや脱毛の理論と毛周期についても学ぶ。</p> <p>・授業は講義形式で行い、エステティックの技術に必要な機器の使用方法や効果、禁忌事項の理解度を深め実技演習につなげて行く授業である。</p>						
到達目標	<p>①エステティック機器の使用方法と効果、禁忌について理解し、実習に繋げていく。</p> <p>②肌に合った化粧品の選択ができるようにする。</p> <p>③毛周期を理解し、脱毛について説明ができるよう理解する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	G5について						
第2週	低周波機器について						
第3週	サクション(ボディパター)について						
第4週	背中ブラシクレンジング、美白トリートメントについて						
第5週	フットのケアについて						
第6週	フェイシャルカウンセリング機器について						
第7週	フェイシャル機器 パターについて						
第8週	フェイシャル機器 イオン導入について						
第9週	フェイシャル 超音波 エクスフォリエーターについて						
第10週	毛周期について						
第11週	ワックス脱毛について①						
第12週	ワックス脱毛について②						
第13週	ブランド化粧品のコンセプトについて						
第14週	ブランド化粧品の成分について						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を実施し、その結果で成績を評価する。</p> <p>・※評価目安: 筆記試験の結果 × 出席率</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	たかの友梨ビューティクリニックにて3年間勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック応用演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	杉山 菜月	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	・授業は実技演習形式で行う。・それぞれの悩みに合った化粧品を選択し、効果効能を体感する。・エステティック機器を使用し、エステティックの奥深さ・可能性を体感する。						
到達目標	・エステ機器の使用方法の習得。・肌質・ブランドによる化粧品の違いを理解する。・相モデルで行うこととおもてなしの心を身に着ける						
授業計画・内容							
第1週	フェイシャルトリートメント						
第2週	フェイシャルトリートメント						
第3週	フェイシャル機器(イオン導入)						
第4週	フェイシャル機器(イオン導入)						
第5週	フェイシャル機器(エレクトロクレンジング)						
第6週	フェイシャルトリートメント(パック)						
第7週	フェイシャルトリートメント(パック)						
第8週	ボディトリートメント						
第9週	フェイシャル機器(吸引)						
第10週	フットケア						
第11週	フェイシャルトリートメント						
第12週	ボディトリートメント						
第13週	フェイシャルトリートメント(選択化粧品)						
第14週	フェイシャルトリートメント(選択化粧品)						
第15週	前期試験対策						
評価方法	定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(60%)・課題提出(20%)授業態度や出席(20%)						
教科書 教材など	認定フェイシャル・ボディエステティシャン 理論と実技						
実務経験	たかの友梨ビューティクリニックにて3年間勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	メイクアップ応用演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	杉山 菜月	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	・授業は実技演習形式で行う。・IBFのテキストを使用し様々なパターンのメイクアップを行うことでメイクの多様性・奥深さを体感する。						
到達目標	・IBFテキストの各メイクアップパターンの特徴を理解する。・フルメイクの技術向上。						
授業計画・内容							
第1週	チャーミングメイク						
第2週	チャーミングメイク						
第3週	フレッシュメイク						
第4週	シャープメイク						
第5週	シャープメイク						
第6週	シャープメイク						
第7週	ポリッシュメイク						
第8週	ポリッシュメイク						
第9週	ポリッシュメイク						
第10週	ウエディングメイク						
第11週	ウエディングメイク						
第12週	パーティメイク						
第13週	トレンドメイク						
第14週	前期試験対策						
第15週	前期試験対策						
評価方法	定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(60%)・課題提出(20%)授業態度や出席(20%)						
教科書 教材など	IBFテキスト Part3 variations						
実務経験	たかの友梨ビューティクリニックにて3年間勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	ネイル応用演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須	
担当教員	石井貴子	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	授業方法	演習	
授業概要 ・ 授業内容	<p>・7月のアジアネイルフェスティバルに行くまでに、いろいろなネイル材料に触れて知ってもらい、自分で材料を選んで使えるよう知識を持てるようにしていきます。</p> <p>・授業は主に実技演習形式で行い、相モデルを中心に授業を進め、ネイル専攻以外の学生達が前期の授業中に少しでも楽しみながら実践・実技的なネイル技術を学ぶ。</p>							
到達目標	<p>・学んだ技術を組み合わせ、ネイルチップを制作し、ネイル教室に飾ります。1年生が見たときに、「専攻外のネイル授業でも、ここまでの出来るようになるんだ」と、思えるような技術を身に付けさせる。</p>							
授業計画・内容								
第1週	アクリル エンボス(丸・涙型・ハート・花)							
第2週	アクリル エンボス(リボンなど)							
第3週	フットジェル相モデル練習(前半)							
第4週	フットジェル相モデル練習(後半)							
第5週	ジェルネイル 長さ出し							
第6週	ジェルネイル 長さ出し							
第7週	ジェルアート							
第8週	ジェルアート							
第9週	ジェルアート							
第10週	ジェルアート							
第11週	フットジェルネイル(自分の足に自由なデザインでジェルを施す)							
第12週	チップ作成(チップおこし)							
第13週	チップ作成							
第14週	チップ作成							
第15週	ネイルケア、1分間スピーチ							
評価方法	<p>・学期末試験は実施せず出席状況、授業態度、チップ制作の仕上がり及び1分間スピーチを考慮して成績を評価する。</p> <p style="text-align: right;">* 評価</p> <p>目安: 出席状況(60%)・授業態度(20%)・チップ制作(10%)・1分間スピーチ(10%)</p>							
教科書 教材など	教材は学校共有教材。 ・ジェル筆5本組セットのみ配布							
実務経験	サロンワーク12年(有限会社 うるわし) NA認定講師10年、OPIJAPAN認定エドューケーター				J	実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	作品制作	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	木村 裕美/中山 いずみ/村中 梨絵	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	<p>・自由な発想とテクニックで、ヘアやメイクでイメージを表現する技術を中心に学び、撮影やショーで「伝える」ための作品を制作する。</p> <p>・授業は主に、実技演習形式で行い、絵画、映画、MVなどからインスピレーションを受け、自由な発想とテクニックでヘア、メイクを完成させていく。OBMコレクションに向けて表現する技術を学び、「伝える」ための作品を制作する。同時にグループで作品を制作することで、同じ目標に向かって協力することや協調性を養う。</p>						
到達目標	<p>学生たちが得た発想や感性を生かし、制作し作品を残す。また今まで学んだことをOBMコレクションで発揮できるように指導する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	模写メイクデザイン決定						
第2週	模写メイクデザイン撮影①						
第3週	模写メイクデザイン撮影②						
第4週	絵画、映画、MVなどからのインスピレーション①デザイン画作成						
第5週	絵画、映画、MVなどからのインスピレーション②制作						
第6週	絵画、映画、MVなどからのインスピレーション③制作、撮影						
第7週	絵画、映画、MVなどからのインスピレーション④制作、撮影						
第8週	OBMコレクション準備						
第9週	OBMコレクション準備						
第10週	OBMコレクション準備						
第11週	OBMコレクション準備						
第12週	OBMコレクション準備						
第13週	OBMコレクション準備						
第14週	OBMコレクション準備						
第15週	OBMコレクション準備						
評価方法	<p>定期試験は実施せず、実習、実技内容や協調性と出席状況や授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安 →実習実技内容や協調性(90%)、授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	特になし						
実務経験	中山 いずみ 株式会社 PCパンドーラ 職務歴 3年 村中 梨絵 株式会社AILEにてエステティシャンとして7年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	衛生管理	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	授業方法	講義
授業概要・授業内容	学生たちが将来就業するビューティ業界においては、お客様の肌や身体に直接触れて施術を行うため、適切な衛生管理が求められる。お客さまとサービス担当者の健康を守るための適切な衛生措置や消毒方法について学ぶ。授業は講義形式で行う。						
到達目標	サロンにおける衛生管理を適切かつ徹底して行うことができる知識や技能を知り、お客さまの信頼を得ることができるサービス担当者の基本を身につける。						
授業計画・内容							
第1週	衛生管理の授業概要、受講上の注意						
第2週	衛生管理の考え方 エステティックサロンにおける衛生管理の対象						
第3週	エステティックサロンにおける衛生基準						
第4週	血液、体液の処理方法 感染経路						
第5週	病原微生物						
第6週	正しい手洗いの方法 器具、備品の洗浄消毒の手順						
第7週	消毒方法						
第8週	感染症の法規制						
第9週	ネイルサロンにおける衛生管理の対象						
第10週	ネイルサロンにおける衛生基準						
第11週	揮発性溶剤に関する知識 リスクアセスメント 消防法						
第12週	薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保などに関する法律)						
第13週	事例解説①(揮発性溶剤に関する事例解説)						
第14週	事例解説②(化粧品に関する事例解説)						
第15週	事例解説③(使用器具などの衛生措置に関する事例解説)						
評価方法	定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(60%)・課題提出(20%)授業態度や出席(20%)						
教科書教材など	「エステティックの衛生基準」、「ネイルサロン衛生管理マニュアル」、プリント						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	イメージメイクアップ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	中山 いずみ	学年・学期	2年・通年	時間数	180 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	メイクアップの基礎知識、ベーシックな技術、アイテムの知識を基盤に感性、センス、人間性を磨いていく。授業は主に実技形式で行い、デモンストレーションや講義形式を交え、様々なメイクの技術を学んでいく。最終的には授業のまとめとして、卒業制作を完成させる。						
到達目標	様々な年齢肌の悩みを学び知ることで、社会に出た際、お客様のニーズに合わせた接客ができるように指導する。また年代別メイクの流行を知ることで、現在のメイクの進化した形を修得する。						
授業計画・内容							
第1週	授業内容の説明、ウィッグヘテーマメイク①	第16週	年代別メイク 90年代				
第2週	ウィッグヘテーマメイク②	第17週	年代別メイク まとめ				
第3週	マスクメイク①	第18週	実技テスト				
第4週	マスクメイク②	第19週	傷メイク①				
第5週	年齢別メイク 20、30代	第20週	傷メイク②				
第6週	年齢別メイク 40、50代	第21週	和装メイク①				
第7週	年齢別メイク 60、70代	第22週	和装メイク②				
第8週	年齢別メイクまとめ	第23週	洋装ブライダルメイク①				
第9週	実技テスト	第24週	洋装ブライダルメイク②				
第10週	ボディジュエリー①	第25週	洋装ブライダルメイク③				
第11週	ボディジュエリー②	第26週	和装、洋装ブライダルまとめ				
第12週	年代別メイク 50年代	第27週	卒業制作①				
第13週	年代別メイク 60年代	第28週	卒業制作②				
第14週	年代別メイク 70年代	第29週	卒業制作③				
第15週	年代別メイク 80年代	第30週	卒業制作④				
評価方法	定期試験を実施し、前期、後期実技試験の結果と小テスト、授業態度や身だしなみ、出席状況及び提出物や小テストを考慮して成績を評価する。 ※評価目安：実技試験と小テスト(60%)・授業態度・出席や身だしなみ(30%)・提出物(10%)						
教科書 教材など	特になし						
実務経験	株式会社 PCパンドーラ 3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	メイクアップコミュニケーション	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	木村 裕美	学年・学期	2年・通年	時間数	105 時間	授業方法	演習
授業概要・授業内容	<p>授業で行うメイクセラピーとは、心理カウンセリングと色彩学や印象分析の理論を取り入れたメイクアップ技法で、「なりたい自分」になるために印象を変えるメイクアップを提供できるようにさせる。</p> <p>授業は実技演習で行い、メイクセラピーを学ぶ事で、メイクをする事の本来の意味や目的を再確認させ、自己中心ではなく他者とのコミュニケーションツールとして活用できるように学習する。</p>						
到達目標	<p>①一般社団法人メイクセラピストジャパン主催、メイクセラピー検定3級。</p> <p>②検定取得以外に、メイクセラピーがクライアントに対して実際行えるまでの技術を身につける。(2級や1級の実技試験内容)メイクセラピーを学ぶ事で、メイクをする事の本来の意味や目的を再確認させ、自己中心ではなく他者とのコミュニケーションツールとして活用できるようにさせる。</p>						
授業計画・内容							
第1週	メイクセラピー概要・メイクセラピーの需要と必要性	第16週	カウンセリング実習①				
第2週	デモンストレーション	第17週	カウンセリング実習②				
第3週	カウンセリング概論①	第18週	カウンセリング実習③				
第4週	顔と心と化粧の関係	第19週	カウンセリング実習④				
第5週	スキンケア概論	第20週	3級筆記試験対策				
第6週	メイクアップ概論(パーツバランス)	第21週	ケースヒストリー①				
第7週	メイク実習(パーツバランス)	第22週	3級筆記試験対策				
第8週	メイクアップ概論(色彩)	第23週	ケースヒストリー②				
第9週	メイク実習(パーソナルカラー)	第24週	3級筆記試験対策				
第10週	メイクアップ概論(質感)	第25週	3級筆記試験				
第11週	模擬テスト(過去問題)	第26週	論述問題対策①				
第12週	メイクセラピー的心理学	第27週	論述問題対策②				
第13週	人間関係論	第28週	1級メイク実習				
第14週	カウンセリング概論②	第29週	1級メイク実習				
第15週	メイク実習	第30週	1級模擬試験				
評価方法	<p>メイク・セラピー検定3級取得を半単位とする。その他、授業終了時に毎回行う確認テストで技術を量る。</p> <p>その他、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:検定取得(50%)、確認テスト(40%)授業態度や出席(10%)</p>						
教科書教材など	<p>メイク・セラピー入門 3級対策</p> <p>日本メイクアップ技術検定試験対策テキスト1級</p>						
実務経験	Fika beauty&relax オーナー歴1年				実務経験のある教員による授業科目		✓



## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビューティアドバイザー演習		学科名	トータルビューティ		必須・選択	必須選択	
担当教員	木村 裕美		学年・学期	2年・通年	時間数	135 時間	授業方法	演習
授業概要 授業内容	<p>メイクアップの基本の知識、技術を踏まえたうえで、メイクアップ接客マナー、メイクアップカウンセリングスキル、メイクアップアドバイススキルを養い、真のビューティアドバイザーを目指す。 授業は主に実技演習形式で行い、何かの資格取得が目標ではなく、実践で役立つマナーやホスピタリティマインドを鍛える。また講義形式により接客マナーやカウンセリングの重要性を認識させる。</p>							
到達目標	<p>お出迎えからお見送りまで一貫して、サービスを提供する姿勢を崩さず、接客対応ができるようになる。メーカーごとにトレーニングされることが違うので、就職後にどのメーカーに就いても使える基礎技術や化粧品成分、美容業界特有の接客マナーやホスピタリティマインドを中心に指導する。</p>							
授業計画・内容								
第1週	メイク接客の心得・メイク接客サービスの流れ		第16週	肌タイプ・マイクロスコープ、水分計・肌悩み別スキンケア方法				
第2週	メイク接客マナー		第17週	メイクアップアドバイス				
第3週	お辞儀・声の印象・言葉遣い・その他のマナー		第18週	メイクアップアドバイス				
第4週	メイクアップカウンセリング		第19週	スピードメイクアップのためのテクニック				
第5週	カウンセリングの目的・アクティブリスニング		第20週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料)①				
第6週	ほめるコミュニケーション・カウンセリング手順		第21週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料)②				
第7週	カウンセリング実習①		第22週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料)③				
第8週	骨格		第23週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料)④				
第9週	カウンセリング実習②		第24週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料)⑤				
第10週	メイクアップハーモニー		第25週	化粧品学(化粧品の肌への働き・化粧品原料)⑥				
第11週	カウンセリング実習③		第26週	原料と基礎知識(UVケア化粧品・ベースメイクアップ化粧品)				
第12週	カウンセリング実習④		第27週	原料と基礎知識(着色剤・ポイントメイクアップ化粧品)				
第13週	カウンセリング実習⑤		第28週	原料と基礎知識(ボディケア・ヘアケア化粧品)				
第14週	カウンセリング実習⑥		第29週	フレグランス・その他の知識・メイクの種類と技術				
第15週	確認テスト		第30週	まとめ				
評価方法	<p>JMA主催 シニアメイクアップアドバイザー資格認証受講を定期テストとする。 その他、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:定期テスト(シニアメイクアップアドバイザー資格認証講習受講)(90%)、授業態度や出席(10%)</p>							
教科書 教材など	一般社団法人JMA シニアメイクアップアドバイザー資格認証テキスト							
実務経験	Fika beauty&relax オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓	

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	メイクアップ集中演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	木村 裕美	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	授業方法	演習
授業概要 授業内容	一般社団法人JMA主催メイクアップシニアアドバイザー検定取得に向けて行っているビューティアドバイザー演習への導入部となる。 授業方法は、講義形式を中心とし、理解した後デモンストレーションの展示で大枠のイメージを掴み、相モデルによる反復実習で実力をつける。						
到達目標	お出迎えからお見送りまで一貫して、サービスを提供する姿勢を崩さず、接客対応ができるようになる。 カウンセリング力を高め、就職後の即戦力となるスキルがマスターできたか。						
授業計画・内容							
第1週	メイク接客の流れ①(メイク接客マナー・電話対応・心遣い)						
第2週	メイク接客の流れ②(クレーム処理・褒めるコミュニケーション)						
第3週	顔の成り立ち(骨格・筋肉・皮膚)顔分析(ゴールデンプロポーション)						
第4週	顔型別メイク①(ゴールデンプロポーション)						
第5週	顔型別メイク②(ひし形)						
第6週	顔型別メイク③(ベース型)						
第7週	顔型別メイク④(面長型)						
第8週	顔型別メイク⑤(丸型)						
第9週	顔型別メイク・肌色の構成						
第10週	化粧品学(化粧品の肌への働き)①						
第11週	化粧品学(化粧品の肌への働き)②						
第12週	化粧品学(化粧品の肌への働き)③						
第13週	化粧品概論(フェイシャル化粧品・ボディ化粧品・メイクアップ化粧品・着色剤・フレグランス)						
第14週	肌タイプ(乾燥肌・普通肌・脂性肌・混合肌)肌悩み別スキンケア法						
第15週	メイクの種類と技術						
評価方法	定期試験は実施せずに、毎授業時間終了後に提出される課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 毎時間の課題(90%)・授業態度や出席(10%)						
教科書 教材など	日本化粧品検定2級3級対策テキストより作成したプリント						
実務経験	Fika beauty&relax オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	トラディショナルメイクアップ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	中山 いずみ	学年・学期	2年・後期	時間数	15 時間	授業方法	演習
授業概要 授業内容	<p>・化粧は時代を映す鏡と言われるほど、化粧は時代背景とともに移りゆく。過去に学んだ歴史に化粧を照らし合わせ、女性の美に対する意識や変化を、西洋化粧が一般的に行われるようになる現代までを時代を追いながら学ぶ。</p> <p>・授業は講義形式を中心に時代背景や和・西洋メイクの歴史の理解を深め、また代表となる時代のテーマメイクを相モデルで実習を行う。</p>						
到達目標	<p>・美容に携わる者として、時代背景とともに美の遍歴を辿りながら学び、未来の美についても考え、最終的にはデザインを制作する。また化粧の歴史を学び、和装メイク等の日本伝統文化を後世に伝えることを目標にする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	時代年表、化粧の起源						
第2週	魔除け、威嚇、カムフラージュ メイク実習						
第3週	江戸時代～明治時代 理論						
第4週	和装メイク実習（浴衣を自分で着れるようになる。ヘアメイクをして写真を撮る）						
第5週	歌舞伎メイク実習						
第6週	大正時代～昭和初期(戦前) 理論						
第7週	モダンガールメイク実習						
第8週	昭和中期～戦後 理論						
第9週	ヘップバーンメイク実習						
第10週	ツイギーメイク実習						
第11週	昭和50年代～60年代、平成 理論						
第12週	昭和50年代～61年代、平成 メイク実習①						
第13週	昭和50年代～62年代、平成 メイク実習②						
第14週	昭和50年代～63年代、平成 メイク実習③						
第15週	未来創造 実習						
評価方法	<p>定期試験と実習実技内容、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:定期試験(80%)・実習技術内容(10%)・授業態度や出席(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>・教材は学校共有教材。講師作成プリント。</p>						
実務経験	株式会社 CPパンドーラ(メイク担当)3年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

科目名	ジェルネイル応用演習 I	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	ジェルネイルを施術するためにプロとしてサロンワークに必要なグラデーション、フレンチカラーリング、ジェルスカルプチュア、ネイルアートを学ぶ。ハンドを使用して授業を行う。						
到達目標	ジェルカラーリング、ジェルグラデーション、ジェルフレンチカラーリング、ジェルスカルプチュア、ジェルアートの技術習得						
授業計画・内容							
第1週	ジェルカラーリングデモンストレーション ハンド実習						
第2週	ジェルグラデーションデモンストレーション ハンド実習						
第3週	ジェルフレンチカラーリングデモンストレーション ハンド実習						
第4週	ジェルスカルプチュアデモンストレーション ハンド実習						
第5週	ジェルスカルプチュアハンド実習①						
第6週	ジェルスカルプチュアハンド実習②						
第7週	ジェルグラデーション フレンチカラーリングハンド実習①						
第8週	ジェルグラデーション フレンチカラーリングハンド実習②						
第9週	ジェルグラデーション フレンチカラーリング ジェルスカルプチュアハンド実習①						
第10週	ジェルグラデーション フレンチカラーリング ジェルスカルプチュアハンド実習②						
第11週	ジェルネイルアート①デモンストレーション ハンド実習						
第12週	ジェルネイルアート②デモンストレーション ハンド実習						
第13週	ジェルネイルアート③デモンストレーション ハンド実習						
第14週	ジェルネイルアート④デモンストレーション ハンド実習						
第15週	ジェルネイルアート⑤デモンストレーション ハンド実習						
評価方法	授業に取り組む姿勢・態度(20点) 出席率(50点) 試験(30点)を考慮し100点満点で評価する						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～						
実務経験	サロンワーク経験3年(株式会社 ライフビューティ)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	ジェルネイル応用演習Ⅱ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・後期	時間数	105 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	ジェルネイル技能検定試験上級に対応したジェルスカulpture、ジェルチップオーバーレイとジェルフラワーアートの技術と知識を学ぶ授業 ハンドを使用して実習						
到達目標	ジェルネイルのスペシャリストとして必要とされるジェルの総合的知識と技術の習得						
授業計画・内容							
第1週	ジェルチップオーバーレイデモンストレーション ハンド実習						
第2週	ジェルチップオーバーレイ(フレンチ)デモンストレーション ハンド実習						
第3週	ジェルスカulptureデモンストレーション ハンド実習						
第4週	ジェルチップオーバーレイ(ジェルアートフラワー①)デモンストレーション ハンド実習						
第5週	ジェルスチップオーバーレ(ジェルアートフラワー②)デモンストレーション ハンド実習						
第6週	ジェルスチップオーバーレ(ジェルアートフラワー③)デモンストレーション ハンド実習						
第7週	ジェルスカulpture ジェルチップオーバーレイ(フレンチ ジェルアートフラワー) ハンド実習①						
第8週	ジェルスカulpture ジェルチップオーバーレイ(フレンチ ジェルアートフラワー) ハンド実習②						
第9週	ジェルスカulpture ジェルチップオーバーレイ(フレンチ ジェルアートフラワー) ハンド実習③						
第10週	ジェルスカulpture チップオーバーレ3種 ハンド実習①						
第11週	ジェルスカulpture チップオーバーレ3種 ハンド実習②						
第12週	ジェルスカulpture チップオーバーレ3種 ハンド実習③						
第13週	ジェルスカulpture チップオーバーレ3種 ハンド実習④						
第14週	ジェルスカulpture チップオーバーレ3種 ハンド実習⑤						
第15週	ジェルスカulpture チップオーバーレ3種 ハンド実習⑥						
評価方法	授業に取り組む姿勢・態度(20点) 出席率(50点) 試験(30点)を考慮し100点満点で評価する						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～						
実務経験	サロンワーク経験3年(株式会社 ライフビューティ)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	アクリル基礎演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・前期	時間数	150 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	トップレベルのネイリストとして必要とされるアクリルを使用するのイクステンションの基礎的な技術の習得を目指した授業 ハンドを使用して授業をおこなう						
到達目標	アクリルネイルを使用するの基礎的なイクステンション(ナチュラルスカルプチュア、チップ&オーバレイ)の技術と知識の習得						
授業計画・内容							
第1週	プロダクト説明 テーブルセッティング プロダクトコントロール チップ&オーバレイデモンストレーション ハンド実習①						
第2週	チップ&オーバレイハンド実習②						
第3週	チップ&オーバレイハンド実習③						
第4週	スカルプチュアデモンストレーション ハンド実習①						
第5週	スカルプチュアハンド実習②						
第6週	スカルプチュアハンド実習③						
第7週	チップ&オーバレイ スカルプチュアハンド実習①						
第8週	チップ&オーバレイ スカルプチュアハンド実習②						
第9週	チップ&オーバレイ スカルプチュアハンド実習③						
第10週	チップ&オーバレイ スカルプチュアハンド実習④ 筆記試験対策①						
第11週	チップ&オーバレイ スカルプチュアハンド実習⑤ 筆記試験対策②						
第12週	チップ&オーバレイ スカルプチュアハンド実習⑥ 筆記試験対策③						
第13週	チップ&オーバレイ スカルプチュアハンド実習⑦ 筆記試験対策④						
第14週	チップ&オーバレイ スカルプチュアハンド実習⑧ 筆記試験対策⑤						
第15週	チップ&オーバレイ スカルプチュアハンド実習⑨ 筆記試験対策⑥						
評価方法	授業に取り組む姿勢・態度(20点) 出席率(50点) 試験(30点)を考慮し100点満点で評価する						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムアドバンス ネイリスト技能検定試験公式問題集						
実務経験	サロンワーク経験3年(株式会社 ライフビューティ)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	アクリル応用演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・後期	時間数	45 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	アクリルを使用した応用的なイクステンション技術のデザインカルプチュアと校内コンテスト対策の授業を行うハンドを使用して実習を行う						
到達目標	校内コンテストで学生が高いレベルで競い合うための技術習得と高い技術を必要とするイクステンションアートの修得						
授業計画・内容							
第1週	校内コンテスト対策①						
第2週	校内コンテスト対策②						
第3週	校内コンテスト対策③						
第4週	校内コンテスト対策④						
第5週	校内コンテスト対策⑤						
第6週	校内コンテスト対策⑥						
第7週	校内コンテスト対策⑦						
第8週	校内コンテスト対策⑧						
第9週	デザインカルプチュア①デモンストレーション ハンド実習						
第10週	デザインカルプチュア②デモンストレーション ハンド実習						
第11週	デザインカルプチュア③デモンストレーション ハンド実習						
第12週	デザインカルプチュア④デモンストレーション ハンド実習						
第13週	デザインカルプチュア応用① ハンド実習						
第14週	デザインカルプチュア応用② ハンド実習						
第15週	デザインカルプチュア応用③ ハンド実習						
評価方法	授業に取り組む姿勢・態度(20点) 出席率(50点) 作品提出(20点) コンテスト結果(10点)を考慮し100点満点で評価する						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム アドバンス						
実務経験	サロンワーク経験3年(株式会社 ライフビューティ)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	ネイルサロンワーク	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・後期	時間数	45 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	サロンワークを想定して必要とされるアート技術やマシンの使い方を学ぶ 授業は基本ハンドを使用して行う。必要性がある授業のみ相モデルで行う						
到達目標	ネイルマシンの基本的な使い方がマスターできることと、サロンワークで必要とされるアートの習得						
授業計画・内容							
第1週	ネイルマシンデモンストレーション① ハンド実習						
第2週	ネイルマシンデモンストレーション② ハンド実習						
第3週	ネイルマシンデモンストレーション③ 相モデル実習						
第4週	ネイルマシンデモンストレーション④ 相モデル実習						
第5週	ネイルアート①デモンストレーション ハンド実習						
第6週	ネイルアート②デモンストレーション ハンド実習						
第7週	ネイルアート③デモンストレーション ハンド実習						
第8週	サロンネイルアート① ハンド実習						
第9週	サロンネイルアート② ハンド実習						
第10週	サロンネイルアート③ ハンド実習						
第11週	サロンネイルアート④ ハンド実習						
第12週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル①						
第13週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル②						
第14週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル③						
第15週	マシンワーク+サロンワークジェルネイル④						
評価方法	授業に取り組む姿勢・態度(20点) 出席率(50点) 試験(30点)を考慮し100点満点で評価する						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～						
実務経験	サロンワーク経験3年(株式会社 ライフビューティ)				実務経験のある教員による 授業科目		✓



## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	ネイル集中演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	1年・通年	時間数	75 時間	授業方法	演習
授業概要 授業内容	ネイルケアとジェルネイルを施術するためにプロとしてサロンワークに必要な専門的知識と技術が問われるジェルネイル検定中級、ジェルネイルのスペシャリストとして必要とされる総合的知識と技術が問われるジェルネイル検定上級、トップネイリストとして必要とされる総合的な技術が課題のネイリスト技能検定試験1級の検定対策を行う。ハンドを使用して授業を行う。						
到達目標	ジェルネイル検定中級、上級、ネイリスト技能検定試験1級レベルの知識と技術の理解と習得。検定の合格。						
授業計画・内容							
第1週	ジェルネイル検定中級検定要項説明 DVD鑑賞	第16週	ネイリスト技能検定試験1級検定要項説明 DVD鑑賞 テーブルセッティング				
第2週	テーブルセッティング ジェルグラデーション	第17週	模擬テストアート無し(110分)				
第3週	ジェルフレンチカラーリング	第18週	模擬テストアート無し(110分)				
第4週	ジェルイクステンション	第19週	模擬テストアート無し(110分)				
第5週	ジェルイクステンション	第20週	模擬テスト(160分)				
第6週	ジェルグラデーション ジェルイクステンション	第21週	模擬テスト(160分)				
第7週	ジェルフレンチカラーリング	第22週	模擬テスト(160分)				
第8週	ジェルグラデーション ジェルイクステンション	第23週	模擬テスト(160分)				
第9週	ジェルフレンチカラーリング	第24週	模擬テスト(160分)				
第10週	ジェルグラデーション、ジェルイクステンション ジェルフレンチカラーリング	第25週	ジェルネイル検定上級検定要項説明 DVD鑑賞 テーブルセッティング				
第11週	模擬テスト(85分)	第26週	模擬テスト(85分)				
第12週	模擬テスト(85分)	第27週	模擬テスト(85分)				
第13週	模擬テスト(85分)	第28週	模擬テスト(85分)				
第14週	模擬テスト(85分)	第29週	模擬テスト(85分)				
第15週	模擬テスト(85分)	第30週	模擬テスト(85分)				
評価方法	授業に取り組む姿勢・態度(30点) 出席率(50点) 検定結果(20点)を考慮し100点満点で評価する						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム(ジェルネイル) JNAテクニカルシステムアドバンス ネイリスト技能検定試験公式問題集						
実務経験	サロンワーク経験3年(株式会社 ライフビューティ)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック理論Ⅲ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・後期	時間数	60 時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・エステティックの基本は内面から美しくすること。身体のしくみをより深く理解し、人の肌に直接触れるために必要な、エステティック機器学、化粧品学、栄養学、運動生理学、衛生消毒などを学ぶ。</p> <p>・授業は主に講義形式で行い、肌タイプやトラブルの原因を見分け、トリートメントプランの組み立てや、使用する化粧品成分を理解しホームケアアドバイスができる力を養う。認定試験の口頭試問対策も学習する。</p>						
到達目標	<p>①総合的な学習を通じて、お客様の肌を見分ける力、トリートメントプランを立てる力、ホームケアアドバイスができる力を身に付ける。</p> <p>②実技試験の口頭試問に答えられる力を身に付ける。</p> <p>③センター試験の筆記試験に合格できるよう知識を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	エステティック機器学①						
第2週	エステティック機器学②						
第3週	化粧品学①						
第4週	化粧品学②						
第5週	栄養学①						
第6週	栄養学②						
第7週	運動生理学①						
第8週	運動生理学②						
第9週	衛生消毒						
第10週	サロンでの救急法						
第11週	フェイシャルエステティックについて						
第12週	ボディエステティックについて						
第13週	口頭試問対策						
第14週	口頭試問対策						
第15週	センター試験対策						
評価方法	<p>・定期試験で筆記試験を実施しその結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安:筆記試験結果×出席率</p>						
教科書 教材など	<p>新エステティック学 全6冊</p> <p>化粧品成分ガイド第6版</p>						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	皮膚科学Ⅱ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・体表面全体を覆う人体最大の臓器である皮膚は、紫外線や乾燥などの影響を防ぎ、身体内部のホメオスタシスに大きな役割を果たしていることを理解する。</p> <p>・授業は講義形式で行い、皮膚の働きと仕組みをより深く理解し、正しいスキンケアについて学ぶ。また肌分析について学び、変化する環境に対してどのようなスキンケアをしたらよいかを学習する。</p>						
到達目標	<p>①肌をタイプ別に分類し、見分ける力を養う。</p> <p>②お客様の肌のトラブルの原因は何か、どんな要因が関係しているか分析し、どんなスキンケアが必要かご提案できる力を養う。</p>						
授業計画・内容							
第1週	肌の美しさを損ねる要因(紫外線・冷え)						
第2週	肌の美しさを損ねる要因(乾燥・エイジング)						
第3週	肌の美しさを損ねる要因(ホルモンバランス・ストレス)						
第4週	さまざまな肌状態 肌意識の年代変化						
第5週	美しい肌と衰えた肌						
第6週	色素沈着を起こした肌						
第7週	ニキビ						
第8週	肌荒れと敏感						
第9週	肌と環境 肌と地域気候						
第10週	肌と気象の季節区分						
第11週	肌分析①						
第12週	肌分析②						
第13週	季節に合わせた肌トラブルとその対策①(春・夏)						
第14週	季節に合わせた肌トラブルとその対策②(秋・冬)						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を実施し、その結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安:筆記試験の結果×出席率</p>						
教科書 教材など	<p>新エステティック学 全6冊</p> <p>化粧品成分ガイド第6版</p>						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	解剖生理学Ⅱ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	<p>・エステティック技術を行う上で大切な身体のメカニズムをより深く知ることで、トリートメントをさらに効果的に組み立てることができるようになる。</p> <p>・授業は講義形式で行い、身体に起こる様々な悩みの原因と身体のしくみの関連性を理解し、トリートメントの効果や目的などに合わせて施術が行えるように知識の向上を目指す。</p>						
到達目標	<p>①骨格や筋肉の位置、血液やリンパ液の流れ、自律神経系などの身体のメカニズムをより深く理解し、施術に生かす。</p> <p>②症状別に原因と対策を理解し、アドバイスができるような知識を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	下肢背面の筋肉とその働き						
第2週	腰背部の筋肉とその働き						
第3週	肩甲骨まわりの筋肉とその働き						
第4週	下肢前面の筋肉とその働き						
第5週	上肢の筋肉とその働き						
第6週	筋肉と骨格の復習						
第7週	運動の重要性とアンチエイジング						
第8週	体系のバランス						
第9週	症状別アドバイス 筋疲労						
第10週	症状別アドバイス 肥満						
第11週	症状別アドバイス むくみ						
第12週	症状別アドバイス セルライト						
第13週	症状別アドバイス 冷え						
第14週	症状別アドバイス 乾燥						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を実施し、その結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安:筆記試験結果(100%)</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティックカウンセリング	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・後期	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要 授業内容	<p>・エステティックカウンセリングとは、お客様の心にある悩みを聴くカウンセリングと、お客様のお肌の悩みをプロとして解決に導くコンサルティングの2つの目的があることを理解する。</p> <p>・授業は主に講義形式で行い、お客様との信頼関係を構築する上でカウンセリングが重要な役割を持つことを学び、カウンセリングの意味や効果、どのように導くと良いのかの実習も行う。</p>						
到達目標	<p>・社会人として、エステティシャンとして、求められる接客マナーを身に付けて、お客さまとのコミュニケーションを十分に図り、お客様に安心感を与えるカウンセリングと応対ができることをめざす。</p> <p>・お客様の悩みを解決するカウンセリングができる力を養う。</p>						
授業計画・内容							
第1週	カウンセリングとコンサルティングについて						
第2週	エステティックカウンセラーの役割						
第3週	顧客心理と、エステティックカウンセリングの基本姿勢						
第4週	カウンセリングとコンサルティングの実際						
第5週	エステティックカウンセリングの流れ(受付対応とビフォーアフターカウンセリング)						
第6週	エステティックカウンセリングの流れ(施術中カウンセリングとアフターカウンセリング)						
第7週	接客マナー						
第8週	カウンセリングの実際						
第9週	カウンセリングシートの作成						
第10週	カウンセリングシートの作成						
第11週	カウンセリングの実習						
第12週	カウンセリングの実習						
第13週	カウンセリングの実習						
第14週	カウンセリングの実習						
第15週	後期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を行い、その結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安:筆記試験の結果(100%)</p>						
教科書 教材など	<p>新エステティック学 全6冊</p> <p>化粧品成分ガイド第6版</p>						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	フェイシャルエステティック応用演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・通年	時間数	225 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	<p>・フェイシャルエステティックを理解し、コンサルテーションに基づくトリートメントを構成する力を養ない、使用する化粧品、機器を選択できるように実践学習する。</p> <p>・授業は主に実習演習形式で、肌状態に合わせたトリートメントを行い、肌の悩みを改善へと導く技術力を養う。また季節や肌状態に合わせたマッサージ技術を習得すると共に、プロとして販売および接客力を養う。</p>						
到達目標	<p>①お客様に合わせて、トリートメントプランが立てれる力を身につける。</p> <p>②トリートメントプランに合わせた技術が提供できる力を身につける。</p> <p>③肌状態や悩みに合わせてマッサージの技術の選択、力加減ができるようにする。</p> <p>④プロとしてのおもてなしができるよう接客技術を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	基本手技通しの練習	第16週	夏のマッサージ①				
第2週	基本手技通しの練習及びテスト	第17週	夏のマッサージ②				
第3週	コンサルテーションの実習①	第18週	夏のマッサージテスト さまざまなデープクレンジング				
第4週	コンサルテーションの実習②	第19週	秋のマッサージ①				
第5週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第20週	秋のマッサージ②				
第6週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第21週	秋のマッサージテスト				
第7週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第22週	冬のマッサージ①				
第8週	校内コンテストの練習	第23週	冬のマッサージ②				
第9週	校内コンテストの練習	第24週	ヘッドマッサージ				
第10週	校内コンテストの練習	第25週	さまざまなパック				
第11週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第26週	メイク専攻との交流授業のトリートメント				
第12週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第27週	メイク専攻との交流授業のトリートメント				
第13週	センター試験対策	第28週	来客実習のトリートメント				
第14週	センター試験対策	第29週	1年生交流授業のトリートメント				
第15週	前期試験対策	第30週	後期試験対策				
評価方法	<p>・定期試験を実施し、実技試験結果と小テストや 授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 実技試験結果 × 出席率</p>						
教科書 教材など	<p>新エステティック学 全6冊</p> <p>化粧品成分ガイド第6版</p>						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	ボディエステティック応用演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択	
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・通年	時間数	150 時間	授業方法	演習	
授業概要・授業内容	<p>・ボディエステティックを理解し、コンサルテーションに基づくトリートメントを構成する力を養い、使用する化粧品、マッサージ技術を選択できるように実践学習する。</p> <p>・授業は実技演習形式で、肌状態に合わせたトリートメントを行い、ボディの悩みを改善へと導く技術力を養う。季節や肌状態に合わせたマッサージ技術を習得する。プロとして、販売および接客力を養う。</p>							
到達目標	<p>①お客様に合わせて、トリートメントプランを立てれる力を身に付ける。</p> <p>②トリートメントプランに合わせた技術が提供できる力を身に付ける。</p> <p>③身体の状態や悩みに合わせてマッサージの技術の選択、力加減ができるようにする。</p> <p>④プロとしてのおもてなしができるよう接客技術を身に付ける。</p>							
授業計画・内容								
第1週	基本手技通しの練習	第16週	下肢背面のマッサージ					
第2週	基本手技通しの練習及びテスト	第17週	腰背部のマッサージ					
第3週	コンサルテーションの実習①	第18週	下肢前面のマッサージ					
第4週	コンサルテーションの実習②	第19週	下肢前面のマッサージと足つぼ					
第5週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第20週	デコルテニの腕のマッサージ					
第6週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第21週	マッサージ応用編 通し					
第7週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第22週	マッサージ応用編 通し					
第8週	校内コンテストの練習	第23週	機器による施術					
第9週	校内コンテストの練習	第24週	メジャーリングと身体の見方					
第10週	校内コンテストの練習	第25週	バンテージによる施術					
第11週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第26週	メイク専攻との交流授業のトリートメント					
第12週	コンサルテーションに基づくトリートメント	第27週	メイク専攻との交流授業のトリートメント					
第13週	センター試験対策	第28週	来客実習のトリートメント					
第14週	センター試験対策	第29週	1年生交流授業のトリートメント					
第15週	前期テスト対策	第30週	後期試験対策					
評価方法	<p>・定期試験を実施し、実技テストの結果と小テストや授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:実技テストの結果(80%)・小テスト(10%)・授業態度(10%)</p>							
教科書 教材など	<p>新エステティック学 全6冊 化粧品成分ガイド第6版</p>							
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック集中演習	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	授業方法	演習
授業概要 ・ 授業内容	<p>・1年で身に付けた技術を忘れないために春休みに復習を兼ねた集中授業が必要であり、覚えてたの技術を継続することで身に付けさせることを目標にしている授業である。</p> <p>・授業は主に実技演習形式で行い、ボディ全身のオイルマッサージの技術を復習し、各手技の技術を向上させる。またフェイシャルのオイルマッサージを中心に復習及び技術を向上させる。</p>						
到達目標	<p>①全身のオイルマッサージの工程を覚え、技術力の向上をはかる。</p> <p>②フェイシャルトリートメントの技術力を向上する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	フェイシャルのクレンジング及びマッサージの復習						
第2週	ボディマッサージの復習及び、技術力アップ						
第3週	臀部の学習（マニュアル、ビデオによる学習及び実習）						
第4週	腹部の学習（マニュアル、ビデオによる学習及び実習）臀部の復習						
第5週	臀部、腹部のテストの練習 及びテストの実施 フェイシャルオイルマッサージの復習						
第6週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第7週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第8週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第9週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第10週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第11週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第12週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第13週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第14週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
第15週	春休みの集中授業として第1週～5週にまとめて実施						
評価方法	<p>・春休み中に実技試験を実施し結果と出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>評価目安:実技試験の結果×出席率</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 技術編						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓



## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	アロマセラピー	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	弘中小都子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要・授業内容	植物から抽出した精油(芳香物質)を使ったアロマセラピーの活用法で、美容と身体の健康維持のための方法を学ぶ。授業は講義と、実習(精油を使って作るクラフトづくり)を通じて実際に香りをかきながら行い理解度を高めていく。						
到達目標	アロマセラピー検定1級合格を明確な目標と設定する。同時に日々アロマセラピーを活用し自己管理をしながら学校生活を送ることができるようにすることで、卒業後の就業に役立てることができるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、アロマセラピーの定義と精油の基礎知識						
第2週	精油の製造方法、精油の扱い方、保管方法、アロマセラピーの利用法①						
第3週	精油製造方法、精油の選び方、アロマセラピーの利用法②						
第4週	精油の安全性、アロマと自然環境について						
第5週	精油のプロフィール(各論)11種						
第6週	精油のプロフィール(各論)						
第7週	精油のプロフィール(各論)						
第8週	基材について(植物油、そのたの基材)						
第9週	精油が心身に伝わる仕組み						
第10週	皮膚の仕組み アロマセラピーとスキンケア、ストレスとアロマセラピー						
第11週	睡眠、運動、栄養の知識						
第12週	アロマセラピーと法律						
第13週	アロマセラピーの歴史(古代～中世)						
第14週	アロマセラピーの歴史(近代～現在)						
第15週	アロマセラピー検定対策 模擬テスト						
評価方法	・第10週ごろより、アロマセラピー検定に即したミニテストを実施。授業態度、出席状況、模擬テスト試験結果を考慮して評価する。 ※評価目安: 模擬テスト(70%)・小テスト(10%)・授業態度(10%)・出席状況(10%)						
教科書教材など	アロマセラピー検定 公式テキスト1級・2級(2019年1月改訂版)、その他実習用副教材						
実務経験	アロマブランドメーカー勤務、2004年よりアロマスクール経営				実務経験のある教員による授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	ヘアスタイリング		学科名	トータルビューティ		必須・選択	必須選択	
担当教員	井上 祐樹		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	授業方法	演習
授業概要・授業内容	<p>・2年次より新たな授業としてヘアスタイリングが始まる。</p> <p>・メイク技術も大切だが、現代における美しい女性像の中にはヘアスタイルとメイクのバランスがとても大切であるという認識が広がっている。</p> <p>・授業方法は実技演習を中心にを行い、前期ではスタイリングの基礎技術と知識(編み込技術・アイロンの使い方・スタイリング剤の種類など)を勉強し、後期ではウィッグにてオリジナルヘアスタイルの作成を行う。</p>							
到達目標	<p>・ 日常必要なアップスタイルをベースに編み込みやカーラー巻、アイロンを使用しヘアアレンジを目的とする。</p> <p>・現場で困らないために、まとめ髪やアレンジスタイルなど、幅広い技術を習得する。</p>							
授業計画・内容								
第1週	・基礎技術習得① ・表編み、裏編み、フィッシュボーンなど		第16週	・応用技術習得 ・逆毛の立て方、ピンの打ち方				
第2週	・基礎技術習得② ・三つ編み込、表編み込、裏編み込		第17週	・アップスタイル作成 ・シニョン技術を習得①				
第3週	・基礎技術習得③ ・片編み込み、表編み込、裏編み込		第18週	・アップスタイル作成 ・シニョン技術を習得②				
第4週	・アイロンの使い方 ・ローラーの巻き方		第19週	・アップスタイル作成 ・夜会巻技術を習得①				
第5週	・アイロンやローラーを使用した仕込み技術①		第20週	・アップスタイル作成 ・夜会巻技術を習得②				
第6週	・アイロンやローラーを使用した仕込み技術②		第21週	・アップスタイル作成 ・ブライダルスタイル技術を習得①				
第7週	・編み込みアレンジ① ・編み込みを駆使したハーフアップスタイル①		第22週	・アップスタイル作成 ・ブライダルスタイル技術を習得②				
第8週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したハーフアップスタイル②		第23週	・アップスタイル作成 ・ギブソンタックスタイル技術を習得①				
第9週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したアップスタイル①		第24週	・アップスタイル作成 ・ギブソンタックスタイル技術を習得②				
第10週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したアップスタイル②		第25週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・シニョンスタイル				
第11週	・編み込み等のほぐし方やバランスの見極め ・学生の感性を磨く		第26週	・オリジナルスタイルを作成 ・夜会巻スタイル				
第12週	・アイロンやローラー技術の復習		第27週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・ブライダルスタイル				
第13週	・編み込みを使ったヘアスタイル ・前期試験に向けてのヘアスタイル①		第28週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・ギブソンタックスタイル				
第14週	・編み込みを使ったヘアスタイル ・前期試験に向けてのヘアスタイル②		第29週	・オリジナルヘアスタイルを作成 ・後期試験に向けて作品練習(60分)				
第15週	・前期試験(編み込み技術を駆使したスタイル) ・テーマは「自由」試験時間は40分		第30週	・後期試験(編み込やローラー等を使用する事) ・テーマは「自由」仕込み含めて試験時間は60分				
評価方法	<p>・定期試験を実施し技術課題と授業態度や出席状況を考慮し成績を評価する。</p> <p>※評価目安:技術課題(80)%・授業態度や出席(20)%</p>							
教科書教材など	<p>・プロジェクター(パワーポイント使用)</p> <p>・出版社: 新美容出版等(美容雑誌)。書名: #かねこアレンジ/SHINBIYO等の美容雑誌</p>							
実務経験	美容師歴6年				実務経験のある教員による授業科目		✓	

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	色彩学Ⅱ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	小川智子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩の基礎知識を学び色彩を表現の一つとして、理論的に考える力をつける授業である。</li> <li>・AFT色彩検定3級受験内容を習得することを目標とする</li> </ul>						
到達目標	「感覚的に使う色」から「意図を持った色」えらびができる知識を学ぶ。得た知識は、12月の色彩検定の合格することを目指す						
授業計画・内容							
第1週	色の働き・光と色						
第2週	光と色・色の表示						
第3週	色の表示・慣用色名						
第4週	慣用色名						
第5週	色彩心理						
第6週	色彩心理						
第7週	色彩心理						
第8週	色彩調和						
第9週	色彩調和						
第10週	色彩調和						
第11週	色彩調和						
第12週	色彩調和・配色イメージ						
第13週	ファッション						
第14週	インテリア・慣用色名						
第15週	まとめ・問題集						
評価方法	定期試験を実施し試験の点数、出席日数、授業態度、提出物、作品の精度を考慮して成績を評価する 評価目安：試験の点数(60%)、提出物(20%)、作品の精度・授業態度、出席状況(20%)						
教科書 教材など	色彩検定3級公式テキスト・過去問題集・配色カード						
実務経験	色彩検定対策授業担当20年以上				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	POP	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	岩崎 孝子	学年・学期	2年・後期	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	<p>・お店に役立つ人材としてPOPを描ける事も必要であり、そのためにフェルトペン(油性マーカー・水性マーカー)を使用し、プライスカード、ショーカード、イラストなど作成にバランス、センス、スピード良く描けるように学ぶ授業である。 ・授業は講義形式で講師作成プリントや資料を参考に授業を進め、丸カラーペンの使用方法の基礎から応用までを教え、実際に学生一人ひとりに作成させ成長度を確認し学習していく。</p>						
到達目標	<p>・色彩も兼ねてPOP(プライスカード、ショーカードなど)作成に取り組み、作品が美的センス良く、仕上げられようアドバイスし就職時に役立つように理解度を深める。</p>						
授業計画・内容							
第1週	POPについて、丸マーカーの基礎						
第2週	丸マーカー 数字						
第3週	" カタカナ、英文字						
第4週	" ひらがな、漢字						
第5週	イラストレーション						
第6週	平面から立体						
第7週	丸マーカー 名前						
第8週	角マーカー 数字、カタカナ						
第9週	" 英文字、色彩						
第10週	" ひらがな						
第11週	" 漢字						
第12週	イリュージョン						
第13週	ぬり絵制作						
第14週	プライスカード、ショーカード						
第15週	各々1枚に仕上げる						
評価方法	<p>・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 評価目安:POPの作成能力度(55%)・成長度や提出物(25%)・授業態度や出席(20%)</p>						
教科書 教材など	<p>POP広告クリエイター技能試験ガイド POPレタリング&amp;デザイン①②③ 実戦POPハンドブック カラーマーカー</p>						
実務経験	デザイン会社勤務、カルチャースクール講師				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロン経営学	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	井上 祐樹	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	授業方法	講義
授業概要・授業内容	メイクアップ、エステティック、ネイルなどのサービス提供者として店舗を運営をしていくにあたり、「運営・管理・教育」に関することを学ぶ。また、仕事に従事し、サロンを運営する一員としての自覚を養う。授業は講義形式で行う。						
到達目標	経営者でなくとも、ビューティ業界の一員としてお客さまが安心して任せられるサロン作りの一翼を担うスタッフとしての経営意識をもって仕事に取り組むことができることを目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	サロン経営学の授業概要、受講上の注意						
第2週	サロン経営とは サロンを取り巻く環境						
第3週	サロン開設①(サロンコンセプト)						
第4週	サロン開設②(マーケティング、競合分析)						
第5週	サロン開設③(サロンメニュー作り)						
第6週	サロン開設④(広告、SNS)						
第7週	サロン開設⑤(資金、書類)						
第8週	サロンの運営と管理①(就業規則、スタッフマネジメント)						
第9週	サロンの運営と管理②(トレーニング計画、教育)						
第10週	サロンの運営と管理③(顧客マネジメント、クレーム管理)						
第11週	サロンの運営と管理④(リピートする仕組み作り、キャンペーンの作り方)						
第12週	サロンの運営と管理⑤(資産管理、売り上げ管理)						
第13週	法令遵守(コンプライアンス)						
第14週	社会人としての心構え①(学生と社会人の違い、入社から退社までの基本ルール)						
第15週	社会人としての心構え②(職場の人間関係、注意・忠告の受け方や仕方)						
評価方法	定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:定期試験(60%)・課題提出(20%)授業態度や出席(20%)						
教科書 教材など	プリント						
実務経験	美容師歴6年/教育センター(運営管理取得)				実務経験のある教員による 授業科目		

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	就職ゼミ	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	木村 裕美/キャリアセンター	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	卒業後の就職活動に向けての必要な知識を学ぶ。また、就職に関するガイダンス・企業説明会等を実施し、就職活動に関する情報を提供する。その情報をもとに、自分自身が取捨選択し、解決能力を身に付けることができるよう指導する。 授業は講義形式・グループワークを組み合わせで行う。就職活動の進度に応じて個別の面接練習を行う。						
到達目標	就職の目的や目標を明確にし、将来目指す職業への関心を深め、働くことの意義や職業理解を通じて、学生一人ひとりが意欲的に就職活動に向けた行動がとれるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	業界・職業を知る①(業界研究)						
第2週	業界・職業を知る②(企業研究)						
第3週	業界・職業を知る③(卒業生ガイダンス)						
第4週	グループディスカッション演習③						
第5週	グループディスカッション演習④						
第6週	クレペリン検査模擬試験						
第7週	能力適性検査模擬試験						
第8週	グループワーク演習③						
第9週	グループワーク演習④						
第10週	会社説明会の参加の仕方						
第11週	企業を知る(企業ガイダンス)						
第12週	面接試験のマナー①						
第13週	面接試験のマナー②						
第14週	履歴書の書き方①						
第15週	履歴書の書き方②						
評価方法	定期試験、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(60%)・課題やレポート(20%)・授業態度や出席(20%)						
教科書 教材など	プリント、就職ハンドブック						
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	

## 2021年度 授業計画(シラバス)

科目名	ホームルーム	学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須
担当教員	木村 裕美	学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	クラス内での伝達事項をはじめ、個人の目標設定、決意表明、進路研究、専攻コース決定、将来設計まで幅広く行い、意欲維持または向上のための時間とする。 授業は講義形式で面談やグループディスカッションを交えながら、クラスメイトとの交流も促すと共に学校での取り組みや連絡事項等をつたえ学校生活を有意義にさせる。						
到達目標	快適に学校生活を送るためには一人ひとりに気配りができることと悩みや相談事をいち早く気付けるようにすることが目標である。						
授業計画・内容							
第1週	目標設定、決意表明、自己紹介	第16週	目標再設定・決意表明				
第2週	運動会について	第17週	自己分析①				
第3週	交換ノートについて	第18週	自己分析②				
第4週	個人写真撮影	第19週	自己分析③				
第5週	検定フォローアップ	第20週	専攻研究<メイクアップ>				
第6週	校内コンテストの感想	第21週	専攻研究<エステティック>				
第7週	個人面談①	第22週	専攻研究<ネイル>				
第8週	個人面談②	第23週	進路研究①				
第9週	個人面談③	第24週	進路研究②				
第10週	個人面談④	第25週	進路研究③				
第11週	個人面談⑤	第26週	就職メイク講座①				
第12週	検定フォローアップ	第27週	就職メイク講座②				
第13週	検定フォローアップ	第28週	グループワーク①				
第14週	検定フォローアップ	第29週	グループワーク②				
第15週	半期の振り返りと反省	第30週	まとめ				
評価方法	定期試験は実施せずにHRに大切な出席状況・授業態度や協調性・役割・責任感を重視して成績を評価する。 ※評価目安:出席や授業態度(50%)・協調性・役割分担・責任感(50%)						
教科書 教材など	なし						
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	